

# THE ROTARY CLUB OF TSURUOKA



第 90 回 例会

1967年3月28日(火)曇

## 次 回 例 会

4月4日

卓話予定 本荘正宗出現地の物語

中台吉郎君(会員)

## 出席報告 谷口君

本日の出席	会員数	43名	欠席者	五十嵐君, 鈴木君, 佐藤(寅)君
	出席率	36名		菅原君, 斎藤(得)君, 福島君
	出席率	83.72%		
前回の修正	前回出席率	79.07%	メイクアップ	東京北 金井勝助君
	修正出席数	2名		東京東 田中正臣君
	確定出席率	83.72%		

## 司 会 小花会長

ビジター 藤井清君(酒田RC)

## 報告及び連絡 小花会長より

- New Brunswick RCから、地区ガバナーに提出した報告書が寄贈され到着した。種々興味ある参考になることが記載されているので、その中に高橋君に翻訳をお願いして要点を披露申上げる。
- New Brunswick RCのJonson S Jonson製薬会社のBulletin(会報)も同様拝受した。此の会社は例の日本の留学生高木氏の墓を修復してくれた関係もあるが、先日東京までお出でになったジョージ、カラクーシユ君が此のBulletinの中の写真印刷を担当しているのである。
- 鶴岡市内の小・中学校生徒の作品(絵画)を頂いてNew Brunswick RCに送る計画が実現し、準備が整ったので近く国際奉仕委員会の方で発送して頂く。作者の姓名、年齢なども書き添える。作者には吾がRCから挨拶状を出す。
- 3月19日に郡山RCのスポンサーで行われた南部3県インターシティフォーラムには、小

## 鶴岡ロータリー・クラブ

事務所 { 山形県鶴岡市三日町  
鶴岡商工会議所内  
(TEL 123・1563)

例会日 火曜日  
例会場 ひさごや  
(TEL 707)

花君、佐藤（貞）君、三井君の3名が出席した。その協議内容の要点は次のようなものである。

☆ **フォーラムリーダー真崎健夫君より** 此のフォーラムは役付きない会員、出席義務のない一般会員が積極的に出席して、勉強して頂くのがその本来の目的であるというお話あり。

☆ **ホストクラブ郡山RC会長金森五郎君より** 此のような会を気軽にやれるように実質的に質素に運営し度い。今回はそのように努力した。

☆ **佐々木ガバナーより** 本年は3県合同で此のフォーラムを行ったが、人数が多くなつて無理があるので、来年は2県、その翌年には1県単位でやる予定とする。（種々討議の結果決定）（来年は山形と秋田と共にすることにし、後日秋田と協議して開催地決定の予定）

ガバナーの公式訪問で行うアツセンブリーはガバナーにとつて一生一代のことであるから、成る可く盛大にやつて頂き、前会長ガバナーなども必ず出席して頂き度い。

☆ **クラブ奉仕討議では**

◎ **ファイアサイドミーティングは2名以上集まつて随時気軽にやること。**

青森の阿部君は友人と2名でワンダーフォーゲルを<sup>読み</sup>読む。

アルコールの勢に乗つてRI会長に手紙を出したらその返書を貰い愉快だつたと。

若松RCでは趣味別の集會をやり、ファイアサイドミーティングにするという。之に対してその弊害が起り易くないかを懸念して真崎フォーラムリーダーに質問した処、アトラクションがないとなかなか人が集まらない傾向であれば適当にやつて宜しいとのことであつた。

◎ **ロータリー記録の使い方に就いての討議では、英文の翻訳は宮脇バストガバナーがRIに認められてやつているがなかなかむづかしい。同君も非常に努力されているのでだんだん分りよい文章になるように改善されるであろうと、佐々木ガバナーからの発言あり。**

ロータリーを理解するにはやはり英語を勉強して原文を読むように努力して行き度い。

☆ **佐々木ガバナーより** 来る3月の東京国際大会に際して平RCの佐川君という洋服屋さんか、RI会長Mr J Edd Mc Laughlinに日本特有の生地で作つて贈呈する交渉が纏つたという報告あり。

☆ **国際奉仕討議では**

◎ **石巻RCの文書交換による国際親善の実績の報告あり、参考になつた。**

◎ **仙台RCの提案で東京大会の時、東北の観光を紹介する英文のパンフレットを作ることにし各RCから2,000円程度の寄金をすることに決定す。**

◎ **上山RCの葡萄酒醸造をやつている会員から海外から来られる同職業と個人的に会つて話し合い度い希望があり、ガバナーの許で交渉中であると。**

反対に海外の鋼材関係の職業の人から日本で同業の人と会い、取引きもやり度いと希望もあると。

☆ **職業奉仕討議では**

◎ **真崎フォーラムリーダーから、奉仕とは、1 心構えとしては他人のことを思いやる。**

2 実行としては他人を助けて行く。

此の原則に合つているかどうかを考えればよいのではないか。雇主は使用人のことを、使用人は雇主のことをお互いに考え合つて行けばよい。

◎ **4つのテストの活用の話もあつた。**

☆ **社会奉仕討議では**

ワンダーフォーゲルの話があり、北部3県では詳細な立案計画があり、青森RCの阿部君がお出でになり、そのパンフレットを配布して説明す。北部3県では今年から実施すると、南部3県では尚充分検討して来年から参加するか？ 之はロータリー会員の事業場に働く人々に限るといふことになつている。

☆ ロータリー財団奨学生に就いての討議では

- ◎ 留学生は伝統ということも勿論大切であるが、むしろ親睦を主題とするものである。
- ◎ 28才までの独身者という資格が必要であること。

☆ 佐々木ガバナーから東京大会に就いてのお話あり

- ◎ イヤホン付の携帯ラジオを必ず持参して頂きたい。会場での演説など皆各国語に翻訳して、各異つた周波数で放送するから。又外来の人に貸す為に余分に持参下されれば幸である。
- ◎ 日本の会員は大体、後方の席に就くことになるのでオペラグラスを持参すること。
- ◎ 御婦人の着物はお持ちになつているものの中で最も立派なものを着て頂き度い。

幹事報告 佐藤(貞)幹事

1 国際大会参加者の登録について

5月末東京に於いて開催される国際大会に参加の会員及び家族の事前登録は、3月末にメ切りましたが同大会参加者は会員23名、家族23名、合計46名の多きに達しました。

「ロータリーの友」3月号の挿込(黄色い紙)に同大会の催物プログラムが載つて居ります。

2 チャーター伝達式案内 伊那(長野県)RC—4月19日11時30分より。

3 仮クラブ案内 岡山西RC, 例会日 月曜 12時30分

堺南RC " " "

4 会報到着 東京, 弘前東, 仙台, 新庄各RC

5 岡山ロータリークラブ収支決算書(昭35.7/1~昭36.1.23/1)配布, 供覧

出席報告 谷口君 別項

スマイル報告 佐藤(貞)幹事 別項

卓話 「観光と旅館業に就いて」 阿部公一君(会員)

詩人杜甫は「国破れて山河あり城春にして草木深し」と歌いましたが、惨めな占領を受けた吾が国では正にその詩の通りでありましたけれど、幸いな事に山も河も昔のままに残り、又古い歴史と伝統の上に咲いた日本特有の文化も現在も受けつかれて、外人観光客には大きな魅力となつて外貨を稼ぎ、吾が経済に大きな力をなしている観光事業は、ツーリストインダストリー(旅行者産業)と称して欧洲諸国に於ては、世界第1次大戦後ヨーロッパ復興の第一策として取り上げられ、現在では立派な国の重要産業として、観光大臣までも出現する程積極策を取られているのに反し、我が国に於ては「商品を輸出する」貿易の振興には力を入れているが、「消費者を輸入する」この最もうけのよい観光産業が消極的な状態になつているのは残念な事であります。

最近の観光事業は国際的に活潑であるばかりでなく、国内的にもレジャーインダストリー(余暇産業)として景気を生み、レクリエーション団体旅行の急増と旅行が大衆化してまいりました。

然るに国のこの事業に対する積極的根本策が欠けている為、国際的にはホテル不足に悩まねばならず、国内的には観光先進地、後進地を問わず時代の要求即ち、大衆を受け入れる設備の改善に追われ、経営必ずしも合理化ならずむしろ一寸の進歩も見られぬ様な状態に居る様な事は、ひとり業者のみならず、一般的認識の欠けるところ多いものもあると考えられます。

然しながら過般全日本旅館連合組合長、畠山鶴吉氏が自らの旅館新築落成式の際に述べられた、「私はこの旅館建築に際し、ミサイルの今日でもミサイルを上げるのは人である。従つてお客様によい旅館だとおほめを戴きたいと思うのは当然だが、又それと同様に従業員からも働き易い便利な旅館だと云われるように努力した。」というこの言葉の中に、これからの旅館の経営のあり方が述べられていると思うのであります。即ち経営の近代化は、

1 企業意欲 — 生産から企業 — 不動産投資的なものからビジネスとしての旅館になる。

2 営業意欲 — セールスからマーケティングへ — 帳場外交客引き外交だけでなく、これ等を

